



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年2月14日

上場会社名 株式会社LITALICO 上場取引所 東
 コード番号 6187 URL http://litalico.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 敦弥
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 坂本 祥二 TEL 03(5704)7355
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	6,473	20.4	574	△8.2	553	△12.3	359	△15.6
28年3月期第3四半期	5,374	—	625	—	630	—	425	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	20.76	20.34
28年3月期第3四半期	27.73	—

- (注) 1. 当社は、平成27年3月期第3四半期においては四半期財務諸表を作成していないため、平成28年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。
 2. 平成28年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高はありませんが、当社株式は非上場であるため期中平均株価が把握できませんので、記載しておりません。
 3. 当社は、平成27年12月31日付で株式1株につき6,000株の割合で株式分割を行っております。また、平成28年9月6日付で株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	4,051	1,678	41.4	96.56
28年3月期	3,613	1,308	36.2	79.19

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 1,677百万円 28年3月期 1,308百万円

(注) 当社は、平成28年9月6日付で株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,573	18.0	674	19.9	644	20.6	407	36.2	23.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	17,385,400株	28年3月期	16,521,400株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	－株	28年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	17,322,084株	28年3月期3Q	15,360,000株

（注）当社は、平成27年12月31日付で株式1株につき6,000株の割合で株式分割を行っております。また、平成28年9月6日付で株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、政府や日銀による経済・金融政策等の効果により、景気は緩やかな回復基調が続いております。しかし、新興国をはじめとした海外経済の下振れリスクや、英国の欧州連合（EU）離脱等の影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く事業環境においては、市況改善による税収の自然回復が見込みにくい状況下での社会保障財政の健全化を目指し「社会保障と税の一体改革」が推進され、消費税増税を柱とする社会保障・税一体改革関連法が成立しました。この改革によって消費税の使途が基礎年金、老人医療、介護という高齢者3経費から、社会保障4経費（年金、医療、介護、子育て）に拡大されるなど、高齢者中心の社会保障から、現役世代、特に少子化対策を重視した社会保障への方針転換が鮮明になっております。

出生率回復を目指す我が国政府は少子化対策の一環として、保育所待機児童の解消や、小児医療体制の充実等とあわせ、発達障害児支援を重点項目に取り上げております。

そのような外部環境の変化を踏まえ、長期的利益の安定成長を実現するため、一般就労等を希望される障害者等を対象としたLITALICOワークス事業の一層の強化や業務効率の改善、発達障害がある児童を対象としたLITALICOジュニア事業への投資を継続しております。具体的には、当第3四半期累計期間の新規開設数は、就労移行支援事業5拠点、児童発達支援事業5教室、放課後等デイサービス事業11教室、その他（LITALICOワンダー事業）1教室となりました。

このような事業環境のもと、当第3四半期累計期間の業績につきましては、売上高6,473,431千円（前年同四半期比20.4%増）、営業利益574,355千円（前年同四半期比8.2%減）、経常利益553,166千円（前年同四半期比12.3%減）となり、四半期純利益は359,636千円（前年同四半期比15.6%減）となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりです。

①LITALICOワークス事業

既存拠点及び新規開設拠点が順調に推移したことにより、当第3四半期累計期間の売上高は3,220,856千円（前年同四半期比5.6%増）となりました。

②LITALICOジュニア事業

既存教室及び新規開設教室が順調に推移したことにより、当第3四半期累計期間の売上高は2,935,205千円（前年同四半期比30.9%増）となりました。

③その他

既存教室が順調に推移したこと及び、インターネット事業の収益化により、当第3四半期累計期間の売上高は317,369千円（前年同四半期比282.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して437,734千円増加し、4,051,149千円となりました。これは主に、現金及び預金の減少303,822千円、売掛金の増加159,544千円、固定資産の増加551,368千円によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比較して67,269千円増加し、2,372,380千円となりました。これは主に、長期借入金の増加523,030千円、短期借入金の減少300,000千円、未払金の減少170,956千円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末と比較して370,465千円増加し、1,678,768千円となりました。これは主に、四半期純利益の計上に伴う繰越利益剰余金の増加359,636千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年5月13日の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	981,615	677,793
売掛金	1,174,479	1,334,024
たな卸資産	7,986	6,320
前渡金	2,349	6,588
前払費用	88,437	107,586
繰延税金資産	16,502	16,502
未収入金	30,782	37,562
その他	1,919	2,176
貸倒引当金	△3,094	△1,210
流動資産合計	2,300,977	2,187,343
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	710,896	966,751
工具、器具及び備品	400,872	687,003
減価償却累計額	△259,908	△350,694
有形固定資産合計	851,860	1,303,060
無形固定資産		
ソフトウェア	78,690	100,209
ソフトウェア仮勘定	1,550	—
無形固定資産合計	80,240	100,209
投資その他の資産		
投資有価証券	11,718	12,114
出資金	70	20
長期前払費用	7,328	51,412
従業員に対する長期貸付金	862	429
敷金及び保証金	324,054	360,379
繰延税金資産	36,300	36,179
投資その他の資産合計	380,335	460,534
固定資産合計	1,312,436	1,863,805
資産合計	3,613,414	4,051,149

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	300,000	—
1年内返済予定の長期借入金	246,962	379,102
リース債務	35,111	27,498
未払金	434,190	263,234
未払費用	353,228	398,656
未払法人税等	154,150	62,450
預り金	94,694	109,131
前受収益	1,191	2,633
その他	21,047	31,872
流動負債合計	1,640,577	1,274,578
固定負債		
長期借入金	468,552	991,582
リース債務	52,784	32,297
長期未払金	143,197	73,922
固定負債合計	664,534	1,097,801
負債合計	2,305,111	2,372,380
純資産の部		
株主資本		
資本金	329,687	334,268
資本剰余金		
資本準備金	288,687	293,268
資本剰余金合計	288,687	293,268
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	689,275	1,048,912
利益剰余金合計	689,275	1,048,912
株主資本合計	1,307,649	1,676,448
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	653	928
評価・換算差額等合計	653	928
新株予約権	—	1,391
純資産合計	1,308,303	1,678,768
負債純資産合計	3,613,414	4,051,149

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	5,374,554	6,473,431
売上原価	3,215,161	3,969,098
売上総利益	2,159,392	2,504,332
販売費及び一般管理費	1,533,780	1,929,976
営業利益	625,612	574,355
営業外収益		
受取利息	63	9
受取配当金	2	2
助成金収入	18,814	10,823
その他	1,663	2,409
営業外収益合計	20,543	13,244
営業外費用		
支払利息	13,924	10,653
解約違約金	1,100	20,216
その他	334	3,563
営業外費用合計	15,359	34,433
経常利益	630,796	553,166
特別損失		
固定資産除却損	1,050	32,133
新ブランド切替費用	12,522	—
特別損失合計	13,572	32,133
税引前四半期純利益	617,223	521,033
法人税、住民税及び事業税	191,312	161,396
法人税等合計	191,312	161,396
四半期純利益	425,911	359,636

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	LITALICOワーク ス事業	LITALICOジュニア 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,049,279	2,242,248	5,291,527	83,026	5,374,554
セグメント利益又は損失(△)	1,208,042	481,961	1,690,003	△164,834	1,525,169

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、LITALICOワンダー事業、インターネット事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	1,690,003
「その他」の区分の損失	△164,834
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△899,556
四半期損益計算書の営業利益	625,612

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	LITALICOワーク ス事業	LITALICOジュニ ア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,220,856	2,935,205	6,156,061	317,369	6,473,431
セグメント利益又は損失(△)	1,106,450	629,945	1,736,395	△127,657	1,608,738

(注) 1. 第2四半期会計期間より、報告セグメント名称をWINGLE事業からLITALICOワークス事業へ、Leaf事業からLITALICOジュニア事業へとそれぞれ変更を行っております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、LITALICOワンダー事業(旧Qremo事業)、インターネット事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	1,736,395
「その他」の区分の損失	△127,657
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△1,034,382
四半期損益計算書の営業利益	574,355

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。